「農作物が売れる」「消費者が安心して購入する」ことを意識して、農作物をPRするアプリを作成

1. ビジネス要件

・どんなことを考え、どう作ったのか

　既存の課題は、無人販売店にPRする力がないこと。それを解決するためには、「消費者に安心して購入できる・質の高い農作物だと認知してもらう」必要があると感じ、無人販売店をPRするためのサイトを作ろうと考えた。

・苦労した点

・PRするならTwitterやInstagram等のSNSがあるし、無人販売店の場所だって、Google Map等の既存のサービスを使えば、農家さんは、PRできます。

・ただ単に農家さんが農作物を発信するメリットが小さい。そもそも、このサイトを広告しなければ、消費者の目に止まらない。

・工夫した点

・農家さんが作った野菜に関する記事を投稿すると同時に、SNSに共有できるようにする。

・消費者もSNSで共有できるリンクを作る。

・SNSやGoogle Map等の既存のサービスにはない付加価値を加える必要がありました。考えた付加価値は、以下です。

[農家さんに対して]

・野菜をPRする場所を提供する。

[消費者に対して]

・安くて、安心できる野菜を知ることができる。

2. 機能要件

・ユーザー登録

・ログイン

・パスワードリマインダー

・プロフィール編集機能

・退会

・投稿機能（生産者さんが自らどうやって作っているのか・今日は何を売っているのか等）

・Twitterやその他SNSへ共有（農家さん・消費者両方ともできる）

・画面設計  
・画面デザイン  
・DB設計（テーブルとカラム、型はこういったものが必要になるだろう。この値のカラムの型はこっちでも出来るが、こっちの方がよいだろう。といったもの）  
・クラス設計（LaravelなどFWを使う場合、あると尚好感触）  
・使用する言語やFW、ライブラリの選定（なぜその言語やFW、ライブラリを使用しようと思ったか。例えばvue.jsとreact.jsでは何が違うから今回はこちらを使おうといったものがアピールできれば尚良いです。現役エンジニアの方であれば面接でほぼ聞かれることになりますので回答を必ず準備しておいてください。）  
・テストケース（テスト部で学んだ内容を元に必ずテストケースを作成し、どういった項目で作成したかなど記載しましょう。実際の仕事では不具合を多く出されるととても迷惑ですし、雇われませんので、テストをしっかりやっているように魅せてください。）  
・完成